

第 2 明日を拓く力みなぎる産業のまち

1 地域の特徴をいかした産業の振興

基本施策08	農 業 の 振 興	78
基本施策09	林 業 の 振 興	80
基本施策10	水 産 業 の 振 興	82
基本施策11	工 業 の 振 興	84
基本施策12	商 業 の 振 興	86
基本施策13	企 業 立 地 の 促 進	88
基本施策14	観 光 の 振 興	90
基本施策15	雇 用 ・ 労 働 環 境 の 整 備 ・ 充 実	92

2 産業基盤の整備促進

基本施策16	新千歳空港の拠点形成強化と 周辺環境対策の推進	94
基本施策17	港湾整備とポートセールスの推進	96
基本施策18	苫東開発の推進	98



基本施策 08 農業の振興

現況と課題

本市の農業は、土壌及び気象条件から農地のほとんどが牧草地であり、畜産・酪農を中心とした中規模経営が主体です。

中心となっている畜産農家戸数が減少傾向にある一方で、近年、施設栽培や法人経営体の参入による活性化が期待されており、今後、経営の発展に意欲的に取り組んでいく担い手の確保・育成を図りながら、農業経営の安定及び向上に努めるとともに、農地の保全を実施していくことが必要です。

また、エゾシカを始めとした野生鳥獣による農作物被害が増えていることから、関係機関と連携を図りながら被害抑制のための取組を進める必要があります。

基本目標

担い手の育成・確保に努め、農業経営の安定・向上を目指すとともに、農業生産に必要な農地の確保とその有効活用により、農村環境の保全を図ります。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市農業経営基盤強化促進基本構想
- ・ 苫小牧市酪農・肉用牛生産近代化計画
- ・ 苫小牧市農業振興地域整備計画
- ・ 苫小牧市鳥獣被害防止計画

主な取組

1 担い手の育成・確保と農業経営体質の強化 【産業経済部】

- (1) 新規就農者や経営継承者と呼ばれる担い手を確保しながら、地域農業の中核となる認定農業者などを育成・確保し、農業経営の安定・向上に資するための必要な支援を行い、農業経営体質の強化を図ります。

2 都市農村交流や地域コミュニティ機能の発揮等による地域資源の維持 【産業経済部】

- (1) 都市住民が生産者と交流できる場を活用し、地域の魅力を発信するとともに、農業に対する都市住民の理解の促進を目指します。
- (2) 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に対し支援を行い、優良農地の確保を図ることで適切な保全管理・利用を推進します。

3 地域資源を活用した新事業や利用促進の推進 【産業経済部】

- (1) 生産者及び生産者を含む団体が手がけた農畜水産物などの消費拡大を目指したイベント等を推進します。



4 関係機関と連携した鳥獣被害防止対策の実施 【産業経済部】

(1) 野生鳥獣による農作物被害を抑制するため、苫小牧市鳥獣被害防止対策協議会が実施する取組を総合的に支援します。

主な事業

【産業経済部】

- ・ 就農者等支援事業
- ・ 農業・畜産・酪農収益力強化対策事業
- ・ 樽前交流センター管理事業
- ・ 多面的機能支払交付金事業
- ・ 地域資源活性化推進事業
- ・ 苫小牧市鳥獣被害防止対策協議会補助

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
「農業、林業、水産業を安定させ、向上を図ること」への市民満足度* (%)	67.4	74.2
認定農業者数 (農家)	23	23
担い手への農地利用集積 (%)	66.6	70.0



基本施策 09 林業の振興

現況と課題

本市は、樽前山麓を中心に約3万3千haに及ぶ広大な森林を有しており、市有林については、森林整備計画に基づき計画的な森林施業を実施している一方で、多くの民間の森林については、森林施業が停滞している状況です。森林は、ゼロカーボンシティ^{*}の実現に向けた貴重な二酸化炭素の吸収源であるほか、木材などの物質生産機能や、国土の保全、水源のかん養、保健休養の場の提供など多くの役割を担っており、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させる必要があります。

基本目標

森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるよう、森林施業の促進を図ります。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市森林整備計画
- ・ 森林経営計画
- ・ 苫小牧市特定間伐等促進計画
- ・ ふるさとの山づくり総合計画

主な取組

1 公益機能を重視した森林施業の促進 【都市建設部】

- (1) 森林の有する多面的機能を発揮させるため、国や北海道の補助金や森林環境譲与税を活用して積極的な森林施業を実施します。

2 林業経営の指導 【都市建設部】

- (1) 国や北海道の補助金を活用し、林業事業者の経営コストの低減や作業の効率化を支援するとともに、関係機関と連携を図りながら、安定した森林施業を共同実施します。また、森林所有者の経営意欲が向上する総合的な指導を行います。

3 森林の保護 【都市建設部】

- (1) 林野火災等から森林を守るため、国・北海道・近隣市町村・協力団体等と連携し、森林所有者や森林利用者の防災意識の向上を図るとともに指導啓発を行います。
- (2) 森林における台風・林野火災等の災害被害に備えるため、森林保険に加入するとともに、病害虫や野生鳥獣の被害から森林を守ります。



主な事業

【都市建設部】

- ・市有林整備事業
- ・森林経営管理事業

評価指標

目標指標（項目）	基準年度	R9年度目標
「農業、林業、水産業を安定させ、向上をはかること」への市民満足度*（%）	67.4	74.2
市有林の施業面積（ha）	14	122



基本施策 10 水産業の振興

現況と課題

本市の漁業は、主に20トン未満の船舶による沿岸漁業が中心となっており、年間を通して豊富な魚種が水揚げされています。人口減少時代にある中、漁業者の数はほっき貝漁を中心とした安定的な漁業の存在により、微減にとどまっています。

漁業経営安定化のためには、基幹漁業であるほっき貝の適正な資源管理を継続し、「苫小牧産ほっき貝」のブランド化を推進するとともに、他の魚種についても資源管理を継続し、更なる魅力発信に努める必要があります。

基本目標

水産資源の保護に向けた取組を進め、生産基盤の整備や栽培漁業を推進します。

主な取組

1 資源の保護と増加 【産業経済部】

- (1) マツカワ種苗放流やししゃも及びさけ・ますのふ化放流事業を支援するとともに、資源の安定に向け、試験研究機関などが実施する調査・研究を支援します。
- (2) 市の貝であり、地域団体商標登録されている「苫小牧産ほっき貝」の資源管理を促進し、ブランド化を推進します。

2 漁業経営安定化の確立 【産業経済部】

- (1) 漁業生産力の増大や漁業経営の安定・向上に資するために必要な支援を行います。

3 豊富な海産物の魅力発信 【産業経済部】

- (1) 本市において豊富な海産物が水揚げされることを周知し、苫小牧産水産物の更なる魅力発信に努めます。



主な事業

【産業経済部】

- ・胆振管内ししゃも漁業振興協議会負担金
- ・胆振管内さけ・ます増殖事業協会負担金
- ・北海道さけ・ます増殖事業協会負担金
- ・苫小牧産農水産物プロモーション事業
- ・漁業近代化資金利子補給金
- ・北海道栽培漁業振興公社負担金
- ・胆振太平洋海域漁業振興協議会負担金

評価指標

目標指標(項目)	基準年度	R9年度目標
「農業、林業、水産業を安定させ、向上を図ること」への市民満足度* (%)	67.4	74.2
漁業協同組合員数 (人)	125	維持
漁業算出額 (百万円)	1,451	維持



基本施策 11 工業の振興

現況と課題

本市は、苫小牧港と新千歳空港を有する優れた交通アクセスや広大な用地を背景に、多種多様な産業が集積する産業拠点都市として発展してきました。地域企業が抱える問題は、人口減少と高齢化の進展に伴う人材確保や技能の伝承に加え、技術の高度化、ゼロカーボンへの対応、さらには世界的な社会情勢の変化による資材調達難や物価高騰への対応など、多岐にわたります。

このため、各種の融資・助成制度等による中小企業等への事業活動支援を行うとともに、(公財)道央産業振興財団、苫小牧工業高等専門学校や地元金融機関などと行政の産学官金^{*}による広範な連携支援体制を活用し、新たな製品や技術の創出を図ることが重要となっています。

あわせて、苫小牧市テクノセンター(以下「テクノセンター」)では、企業が求める人材の育成や生産技術の高度化を図るため、研修事業等の充実や各種支援機器の整備を行う必要があります。

基本目標

地域企業の振興と活性化、生産技術の高度化を図るため、各種の支援と関係機関との連携を一層強化します。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市中小企業振興計画
- ・ テクノセンター機器整備計画
- ・ 苫小牧市再生可能エネルギー基本戦略

主な取組

1 中小企業の振興と技術支援 【産業経済部】

- (1) 施設の新増設や機械等設備の導入に向けた融資制度により、中小企業の事業活動を支援し、経営の安定を図ります。
- (2) 工事の発注、物品及び役務の調達等における地元・中小企業の優先活用や受注機会の増大に努めます。
- (3) 中小企業振興条例に基づき、中小企業者、経済団体等と連携・協力し、中小企業の振興を図ります。
- (4) テクノセンターでは、企業が求める人材の育成や生産技術の高度化を図るため、研修事業等の充実や各種支援機器の整備を行います。

2 産学官金連携による産業力の強化 【産業経済部】

- (1) 苫小牧工業高等専門学校サテライト(C-base)や研究機関に金融機関を加えた産学官金(GKK-ものづくり活性化チーム)による連携支援体制を強化することにより、中小企業の課題解決や研究開発支援に加え、新たな製品やサービスの創出等を支援します。
- (2) テクノセンターを中心に、(公財)道央産業振興財団や室蘭工業大学と連携し、企業における技術課題の解決や技術研修事業を促進します。

3 再生可能エネルギー導入の推進 【産業経済部】

- (1) 再生可能エネルギーの普及・啓発を図るとともに、再生可能エネルギーの導入を希望する事業者等を支援します。

主な事業

【産業経済部】

- ・ 中小企業人材育成補助金
- ・ 苫小牧地域産業力強化補助金
- ・ テクノセンター機器整備事業

評価指標

目標指標(項目)	基準年度	R9年度目標
「中小企業の振興を図ること」への市民満足度* (%)	61.5	67.5
技術講習会回数 (回)	38 (R2・R3平均)	45
技術相談・指導回数 (回)	66 (R2・R3平均)	85



基本施策 12 商業の振興

現況と課題

本市では、商店街が地域コミュニティの担い手として、市民生活に重要な役割を果たしていることに鑑み、平成24年(2012年)9月に「苫小牧市商店街の活性化に関する条例」を、平成25年(2013年)4月には、地域全体で中小企業の振興を推進する「苫小牧市中小企業振興条例」を施行し、商店街の活性化及び中小・小規模事業者の振興を図り、市民生活の向上を図っています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大により、ライフスタイルの変化を背景とする消費者ニーズの多様化、価値観の変化などに加え、地域経済の商業環境が大きく変動し、中小・小規模事業者に大きな影響を与えています。高度情報化社会^{*}の急激な発展や経済のグローバル化など、社会経済状況が変化する中、人口減少と少子高齢化の同時進行による市場構造や雇用環境の変化等を見据え、情報通信技術やデジタル化の進展など産業・技術革新を活用しながら、創業、事業承継に関する継続的な支援の展開によって、中小・小規模事業者の減少傾向に歯止めをかけるとともに、持続的発展を実現していく必要があります。

基本目標

商業の振興を図るため、中小・小規模事業者に対する商業経営基盤の強化及び経営の安定を促進し、ライフスタイルの変化による市民の多様なニーズに対応した魅力ある商店街づくりを進めます。

また、本市の産業及び地域経済の発展のため、市内事業所の9割を占める中小企業の振興支援を推進します。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市中小企業振興計画

主な取組

1 中小・小規模事業者に対する商業経営の安定と強化 【産業経済部】

- (1) 関係機関と連携し、中小・小規模事業者に対する経営の相談機能の充実及び伴走支援強化を図るとともに、次の世代を担う新たな経営者育成や、事業承継についての取組を支援します。
- (2) 公的融資制度の充実と活用により資金の円滑化を図り、中小・小規模事業者の経営をサポートします。
- (3) 中小企業振興条例の理念を普及・啓発するとともに、本条例に基づく振興施策を総合的かつ効果的に実施するため、「第二次苫小牧市中小企業振興計画」に基づき、計画的に推進します。

2 地域の商店街及び地域経済の活性化 【産業経済部】

- (1) 地域コミュニティの担い手である市内の商店街の活力を高めるため、創業支援や空き店舗の活用、店舗の改装による個店や街並みの魅力向上や集客力の強化、並びに商店街で実施するイベントや景観向上の支援など、創業から商店街活性化までの一連で支援を行い、にぎわいのあるまちづくりを進めます。
- (2) 「苫小牧市商店街の活性化に関する条例」に基づき、各主体が役割を認識するとともに、苫小牧市商店街振興組合連合会や商店会が行う組織強化に向けた取組を支援します。
- (3) 地域内での経済循環を活性化させるための取組を進めます。

主な事業

【産業経済部】

- ・ 中小企業融資制度 ・ 信用保証料補給事業 ・ 中小企業振興事業
- ・ 苫小牧市事業承継推進事業 ・ 創業促進・商業にぎわい事業
- ・ 地方創生地域コミュニティ活性化支援事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
「中小企業の振興を図ること」への市民満足度* (％)	61.5	67.5
創業促進・商業にぎわい事業施策利用数(件)	63	70
事業承継セミナー受講者数 (人)	20	30
とまチョップポイント利用者 (％)	18.6	26.5
とまチョップポイント加盟店 (店舗)	165	350



基本施策 13 企業立地の促進

現況と課題

本市は、北海道の物流の要衝としてもものづくり産業を始めとする多様な産業が集積しているほか、空港と港湾を有するダブルポートシティとして地域の経済や雇用の基盤となっています。

より強固な産業構造基盤を確立するため、戦略的な港湾整備を進めるとともに、地域の特性をいかした企業やプロジェクトの誘致を進め、医療や食関連などの新たな産業の集積に取り組むとともに、立地企業への支援制度を継続します。また、近年のリスク分散の傾向を踏まえたデータセンター*誘致を推進するとともに、ゼロカーボンの実現に向けエネルギー関連産業や地元企業と有機的な連携を図りながら、社会経済情勢の変化に柔軟に対応した産業の創出に取り組む必要があります。

基本目標

本市の強みでもあるものづくり産業や物流関連産業の更なる集積を図るとともに、カーボンリサイクルや水素、再生可能エネルギー等のゼロカーボン関連産業等、新たな成長が見込まれる産業の展開を進め、雇用の創出や地域経済の活性化につなげます。

また、企業とそこで働く方々が快適に活動できる環境を整え、立地企業の更なる発展を支援します。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市環境基本計画
- ・ 再生可能エネルギー基本戦略

主な取組

1 企業誘致と産業基盤の整備 【産業経済部】

- (1) 国際拠点港湾を有する物流拠点としての優位性に加え、快適な生活環境やまちの魅力、地域資源の利活用等に関する情報の発信力を高め、周辺自治体とも連携を図りながら、積極的な企業訪問や企業誘致フェアへの出展によるPRを行い、効果的な企業誘致の取組を推進します。
- (2) 今後、成長が見込まれる農水産品などの付加価値を高める加工や選果等流通関連企業の誘致、将来の新たな産業として期待される、再生可能エネルギーや水素、カーボンリサイクル等の脱炭素技術の研究開発や実証プロジェクトの誘致を進め、関連する産業の立地を促進します。
- (3) 企業誘致の促進や立地企業の更なる発展のため、基幹道路などのインフラ施設や企業で働く方々の生活環境の整備を進め、産業都市としての機能強化を推進します。



2 立地企業への支援 【産業経済部】

- (1) 立地企業の更なる発展のため、企業が快適に活動できる環境の整備や良好な雇用の確保等への支援を行い、安定的な企業活動をサポートします。
- (2) 「苫小牧市企業立地振興条例」に基づく事業場の新增設に対する優遇措置等により、企業活動を支援します。また、助成内容についても、企業のニーズや社会情勢を勘案し、より活用しやすい制度づくりを目指します。

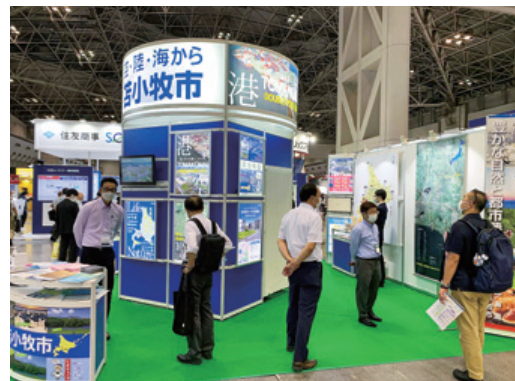
主な事業

【産業経済部】

- ・ 苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会
- ・ 企業立地振興条例助成事業
- ・ 立地企業サポート事業

評価指標

目標指標（項目）	基準年度	R9年度目標
「工業地域の開発と企業の誘致を進めること」への市民満足度*（％）	68.3	70.0
工業団地内において新規に土地を購入した延企業数（社）	832	846



基本施策 14 観光の振興

現況と課題

支笏洞爺国立公園を背景に、樽前山、ウトナイ湖など豊かな自然に囲まれた本市は、陸路・空路・海路の交通アクセスに恵まれ、多くの人が行き交うまちとなっています。

国や北海道では、観光立国の実現に向けて観光を21世紀における日本の重要な柱として位置づけており、個性あふれる観光地域を作り上げ、持続可能な観光地域づくりの取組を推進しています。

今後の課題としては、豊かな自然と食を始め、産業やスポーツなどの観光資源の活用により、地域の魅力を発信することで、ウィズコロナ・アフターコロナにおける国内外の観光需要を創出し地域経済の活性化を図る必要があります。

そのためには観光事業者、観光団体、経済団体、行政機関などの地域が一体となって取り組む必要があります。

基本目標

地元観光資源を再確認し、地域の特性をまちの魅力として、積極的な情報発信に努めることで、交流人口^{*}の増加によるにぎわい創出と地域経済の活性化を目指します。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市観光振興ビジョン
- ・ 苫小牧都市再生コンセプトプラン

主な取組

1 地域の魅力の有効活用 【産業経済部】

- (1) アフターコロナを見据え、食や自然、産業、文化、スポーツ及び各種施設など地域の魅力ある観光資源を国内外に発信し、国内観光需要及びインバウンド^{*}需要の創出を図ります。
- (2) 交通アクセスの利便性の良さに加え、豊かな自然環境をいかした体験型観光の情報発信を強化することで、道内外からの旅行者や教育旅行の誘致促進を図ります。
- (3) 立地優位性や、多くの産業を有することなど本市の特長をいかしながら、地元企業と連携した会議等の誘致や、企業同士の交流による新しいビジネスの創出など、観光協会や関係機関と連携して、イノベーションの機会を呼び込むようなMICE誘致促進を図ります。

2 観光推進体制の強化 【産業経済部】

- (1) ビジット苫小牧観光会議を始め、観光事業者や観光団体、経済団体、行政機関など官民一体となった観光まちづくりを進めます。
- (2) 観光入込が市内で最も多い道の駅ウトナイ湖の観光案内所や中心部の観光案内所の利用促進に努め、他施設への誘客を図ります。

- (3) アフターコロナを見据え、インターネットを活用した多言語情報発信を進めるとともに、観光パンフレットや観光施設説明の多言語化などの受入環境整備を進め、インバウンド需要の創出を図ります。
- (4) 観光協会の事業運営や誘客促進への支援を行います。

3 新たな魅力づくり 【産業経済部】

- (1) 市民、観光客がともに楽しめる魅力あるまつり、各種イベントの開催により、市外からの観光客の誘致を図るとともに、多くの市民や各種団体と協働で地域のにぎわいや活性化を図ります。
- (2) 本市におけるテレビ番組やCM、映画等のロケーション撮影が円滑に行われる環境を整え、映像製作活動への支援を通じ、地域振興及び地域経済の活性化を図ります。
- (3) 本市とゆかりのある作品等のコンテンツを活用した事業を推進し、本市の知名度向上並びに交流人口の増加を図ります。

主な事業

【総合政策部】

- ・都市再生コンセプトプラン推進事業
- ・都市再生コンテンツ創出事業

【産業経済部】

- ・(一社)苫小牧観光協会補助金
- ・外国人観光客誘致事業
- ・観光情報発信強化事業
- ・観光誘客促進事業
- ・港まつり支援事業
- ・スケートまつり支援事業
- ・とまこまいフィルムコミッション支援事業
- ・とまこまいコスプレフェスタ支援事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
苫小牧市観光入込客数 (万人)	150	260
観光案内所利用状況 (件)	13,000	40,000
各種イベント観客動員数 (万人)	2.2	55



基本施策 15 雇用・労働環境の整備・充実

現況と課題

人口減少と少子高齢化を背景とした生産年齢人口^{*}の減少、就労の在り方や産業構造の変化による人材のミスマッチなど、本市においても人手不足は大きな課題となっています。

雇用の確保・拡大を図るためには、人材育成やマッチングなどの求職者への就業支援や、学生、若者、U・I・Jターン^{*}希望者等に向け、市内企業の魅力を発信するなど、企業の人材確保の取組への支援が必要です。あわせて、女性・高齢者・外国人・障がい者など多様な人材が活躍できる職場環境づくりが重要となっています。

また、産業の振興のためには、職業能力開発を強化し、地域産業が求める人材を育成することが必要です。

さらに、単独で福利厚生制度を持つことの難しい中小企業の多い本市において、勤労者の支援として福利厚生を推進することが重要です。

基本目標

雇用の確保・拡大と働きやすい職場環境づくりに努めるとともに、職業能力開発体制の強化と勤労者福祉の充実を図ります。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市中小企業振興計画

主な取組

1 雇用の確保・拡大と若者の地元就職の促進 【産業経済部】

- (1) 地域企業のニーズに応じた求職者の人材育成を支援し、人手不足分野への入職促進を図ることで、労働力の確保に努めます。
- (2) 苫小牧市で働く魅力を広く周知し、若者やU・I・Jターン希望者と市内企業のマッチングを促進します。また、学生が地元企業を知る機会を創出します。
- (3) 産業の振興や企業誘致を図り、雇用の場の確保と拡充に努めます。
- (4) 季節労働者の通年雇用化の促進を図ります。
- (5) とまこまい若者サポートステーションなど関係機関と連携し、若者の職業的自立の支援に努めます。

2 多様な人材を受け入れる雇用環境の整備・充実 【産業経済部】

- (1) 労働環境の改善支援やハラスメント^{*}防止等により早期離職を防ぐことで安定的な雇用の確保を図ります。
- (2) 若者・女性・高齢者・外国人・障がい者など、多様な人材が活躍できる職場環境づくりを支援します。

3 職業能力開発体制の強化 【産業経済部】

- (1) 苫小牧地域職業訓練センターの利用促進を図り、技能者の養成と中高年齢者などの再就職のための能力開発を進めます。
- (2) 道立苫小牧高等技術専門学院の入校を促進し、ものづくり人材の育成、地元就業を図ります。
- (3) 技能士重用制度の充実に努め、技能労働者の社会的地位及び技能水準の向上を図ります。

4 勤労者福祉の拡充 【産業経済部】

- (1) 勤労者福祉の向上を図るため、勤労者貸付金制度と共済制度の充実に努めます。

主な事業

【産業経済部】

- ・ 就業支援事業
- ・ 採用力・魅力創造支援事業
- ・ 地域職業訓練センター補助金

評価指標

目標指標（項目）	基準年度	R9年度目標
「いきいきと働くことができる場があること」への市民満足度*（％）	64.3	69.5
職場改善企業数（件）	82	90
地域職業訓練センターの利用人数（人）	17,289	維持





基本施策 16 新千歳空港の拠点形成強化と周辺環境対策の推進

現況と課題

新千歳空港は、苫小牧市と千歳市にまたがり、3,000mの並行滑走路2本を有する道内最大の空港であり、千歳飛行場は、航空自衛隊の基幹飛行場となっています。

令和2年(2020年)6月から北海道エアポート株式会社への民間委託が開始され、民間の資金とノウハウをいかした空港運営が期待されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、航空需要が大幅に減少していることから、航空・空港の利用促進や地域経済の活性化につながる取組を行う必要があります。

また、航空自衛隊の訓練や米軍再編に伴う訓練移転等により、航空機騒音が増え、事故の不安もあるため、国に対し、徹底した安全対策等を求める必要があります。

基本目標

新千歳空港における航空ネットワークの維持・拡大や継続的な安全対策の実施のほか、米軍再編訓練等においては、市民の安全・安心な生活を確保するとともに、空港周辺地域の環境整備を行い、市民生活の利便性向上を図ります。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市植苗・美沢地区土地利用計画
- ・ 千歳・苫小牧地方拠点都市地域基本計画
- ・ 苫小牧国際リゾート構想

主な取組

1 新千歳空港における航空ネットワークの維持・拡大 【総合政策部】

- (1) 北海道内7空港の一体的運営に関する協議会や新千歳空港の運営に関する協議会において、北海道エアポート株式会社等と緊密に連携を図り、航空ネットワークの維持・拡大に取り組み、新千歳空港の更なる成長・発展につなげます。

2 新千歳空港の利用促進 【総合政策部】

- (1) 老朽化した空港施設の更新や改良など国直轄の空港整備事業を推進するとともに、観光需要の喚起やJR新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上(スルー化)などの二次交通の充実強化に向けて、関係機関と連携を図りながら、新千歳空港の利用促進、利便性の向上に努めます。

3 米軍再編訓練等に伴う安全確保 【総合政策部】

- (1) 市民の安全・安心のため、協定の遵守など安全確保を求めるとともに、危機管理マニュアル等により体制確保に努めます。

4 空港周辺地域の環境整備 【総合政策部】

- (1) 新千歳空港の24時間運用拡大や再編関連訓練移転等交付金などによる地域振興策の事業化を進めます。

5 国際リゾートエリアの形成 【総合政策部】

- (1) 新千歳空港を有する優位性をいかし、植苗地区の自然豊かな民有地を活用した長期滞在型の宿泊施設等の整備や体験プログラムの提供、「特定複合観光施設区域整備法」に基づく統合型リゾート(IR)の誘致等により、北海道のゲートウェイ機能^{*}を強化した広域周遊観光の実現を目指します。

また、国内外からの交流人口^{*}の増加と雇用の創出により、国際的な交流拠点として自然と共生した魅力ある国際リゾートエリアの形成を目指します。

主な事業

【総合政策部】

- ・新千歳空港周辺環境整備財団補助金
- ・新千歳空港の24時間運用に関する苫小牧市地域協議会
- ・苫小牧市航空機騒音対策協議会
- ・新千歳空港整備事業費負担金
- ・再編関連訓練移転等交付金
- ・植苗美沢地区地域情報通信基盤設備事業
- ・テレビ共同受信施設整備事業
- ・新千歳空港建設促進期成会負担金外

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
新千歳空港の年間利用者数 (千人)	22,809 (R1)	27,830
新千歳空港の年間貨物取扱量 (トン)	168,054 (R1)	223,800



基本施策 17 港湾整備とポートセールスの推進

現況と課題

苫小牧港は国内外に週約120便の定期航路が就航し、北海道の港湾貨物の5割以上を取り扱うなど、北日本最大の海上輸送拠点として、本市はもとより北海道経済をけん引する極めて重要な役割を担っています。

西港区では全国各地とRORO船^{*}やフェリーによる国内定期航路ネットワークが形成され、東港区は北海道の外貿コンテナ貨物の7割以上を取り扱い、北米や東アジアを中心とした海外との輸出入の拠点としての機能を担っています。

今後、より競争力を高め、我が国の海上物流の拠点として成長するためにも、更なる港湾機能の強化や大規模災害時における物流機能の確保が重要となっています。今後は苫小牧港のカーボンニュートラルポート^{*}の実現に向けて取り組み、国際競争力や国内における産業立地競争力の強化を目指します。

また、港のにぎわい創出を図るため、多くの市民や観光客が親しみ・ふれあえる港づくりを進める必要があり、苫小牧都市再生コンセプトプランに位置づけているウォーターフロントにおける魅力発信に取り組むことが必要です。

基本目標

国内外の物流動向など、港湾を取り巻く環境の変化に対応した機能強化に加え、積極的なポートセールスに取り組むなど、更なる港勢拡大に向けた取組を推進するとともに、港の魅力を多くの方々に発信しにぎわい創出を図り、次なる成長、発展に向けた港づくりを進めます。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧港長期構想
- ・ 苫小牧港漁港区将来ビジョン
- ・ カーボンニュートラルポート形成計画
- ・ 苫小牧都市再生コンセプトプラン

主な取組

1 港湾機能の強化 【産業経済部】

- (1) 東港区では複合一貫輸送機能を強化するとともに、背後圏の大規模自然災害に備えた耐震性を有する岸壁の整備を進めます。また、北海道の国際海上輸送拠点の役割を果たすため、引き続き、国際コンテナターミナルの機能強化を図ります。
- (2) 西港区では大型化が進むRORO船などに対応するため、ポートサービス船が利用する岸壁などの整備を進めます。
- (3) 港湾地域においてゼロカーボンを推進するため、カーボンニュートラルポートの形成を図ります。

2 安全・安心を支える港づくり 【産業経済部】

- (1) 大規模災害時において、市民の安全で安心な暮らしを守るとともに、港湾の機能不全による北海道経済への影響を最小限に抑えるため、老朽化による機能低下が懸念される防波堤や岸壁の改良を促進します。

3 親しまれる港づくり 【産業経済部、総合政策部】

- (1) 西港区フェリーターミナルやキラキラ公園、漁港区周辺など、観光資源としての港の魅力を、多くの市民や観光客の認知度を高める取組を積極的に進め、更なるにぎわい創出を図り、親しまれる港づくりを促進します。

4 ポートセールスの推進 【産業経済部】

- (1) 苫小牧港の更なる港勢拡大のため、国内外の船社等への積極的なポートセールスに取り組みとともに、苫小牧港の地理的優位性をいかした、アジアと欧州間の最短航路となる北極海航路の苫小牧港の活用に向けた取組を推進します。

主な事業

【産業経済部】

- ・苫小牧港管理組合負担金
- ・苫小牧港PR促進事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9 年 度 目 標
「苫小牧港(西・東)の機能を充実させること」への市民満足度※ (%)	71.0	75.0
外国貿易取扱貨物量 (千トン)	16,034	22,200
内国貿易取扱貨物量 (千トン)	88,743	89,600
取扱貨物量(合計) (千トン)	104,777	111,800
外国貿易コンテナ取扱個数 (TEU)	212,833	300,000



基本施策 18 苫東開発の推進

現況と課題

苫小牧東部地域の開発は、我が国の発展に重要な役割を担う国家的プロジェクトであり、また、北海道の産業構造の高度化を促進する先導的開発事業です。

国が策定した「苫小牧東部開発新計画」及びその段階計画によって、国土交通省北海道局、北海道、苫小牧市、日本政策投資銀行、株式会社苫東の5者による推進体制の下、それぞれの役割分担の中で開発推進に取り組んでいます。

当地域では近年、物流、エネルギー、食関連、医療機器企業の進出など多種多様な産業の集積が進んでいますが、更なる企業誘致に結びつけるためにも、地域特性やこれまでの産業集積をいかし、新たな産業の展開や開発の核となるプロジェクトの導入、ゼロカーボンに向けた取組等、関係機関と緊密に連携し取り組んでいく必要があります。

基本目標

苫小牧東部開発の基軸である企業誘致に戦略的に取り組むほか、地域特性やこれまでの産業集積をいかし、新たな産業や開発の核となるプロジェクトの導入、ゼロカーボンに向けた取組等を推進し、更なる産業の集積を図るとともに、豊かな自然と調和した苫小牧東部地域を目指します。

主な取組

1 苫小牧東部開発の推進 【産業経済部】

- (1) ものづくり産業を始めとする既存立地分野の一層の集積を促進するとともに、「物流」、「エネルギー」、「情報」を優位性の柱とし、新たな産業・プロジェクトの誘致や、ゼロカーボンの取組を推進します。
- (2) 大規模実証フィールドとしての優位性やものづくり産業が集積する強みをいかした特色ある研究開発基盤の形成を図り、技術・研究開発拠点や関連する企業の立地につなげます。
- (3) 港湾を始めとする物流面での優位性をいかし、農水産物など道産品の付加価値向上を図るべく、食関連産業の立地を推進します。
- (4) 陸・海・空の物流機能の強化に向け、関係機関と連携し、基盤整備を進めます。
- (5) 良好な環境の保全に努めるとともに、豊かな自然と産業活動の調和を図り、地域社会との共生に向けた取組を進めます。

主な事業

【産業経済部】

- ・ 苫小牧CCUS・ゼロカーボン推進協議会
- ・ 企業立地振興条例助成事業
- ・ 立地企業サポート事業

評価指標

目標指標（項目）	基準年度	R9年度目標
「工業地域の開発と企業の誘致を進めること」への市民満足度*（%）	68.3	70.0
工業団地内において新規に土地を購入した延企業数（社）	832	846



